



for a living planet®

WWF ジャパン
(公財)世界自然保護基金ジャパン

〒105-0014

東京都港区芝 3 丁目 1 番 14 号
日本生命赤羽橋ビル 6F

Tel: 03-3769-1711
Fax: 03-3769-1717
www.wwf.or.jp

インドネシアの製紙用植林地に対する IFCC/PEFC 認証について 公開質問状を提出

2015 年 9 月 29 日

WWF は、インドネシアの製紙用植林地に対する最近の認証状況について、2015 年 8 月 17 日付でインドネシア森林認証協力機構、IFCC (Indonesian Forest Certification Cooperation) に公開質問状を提出した。IFCC は、国際的な森林認証制度である PEFC (Programme for The Endorsement of Forest Certification) の承認を受けたインドネシアの機関である。

インドネシアの製紙用植林地は大部分が自然林や泥炭地を切り開いて造成され、その多くが地域コミュニティとの間に未解決の紛争を抱えている。そうした状況から WWF は、認証が与えられた根拠に疑問を抱いている。それは IFCC という制度を支えている評価をレビューできる公開情報がほとんどないためである。

2015 年 9 月 17 日、IFCC のエグゼクティブ・ディレクター、ズルフアンディ・ルビス氏から回答が寄せられた。そこには、各植林地が IFCC の基準に適合しているかどうかを監査した機関に、WWF から問い合わせしてほしいとあった。監査の概要が記されているパブリック・サマリーは各認証機関から入手できるとして、WWF がそれらを調査することが提案されていた。ルビス氏の回答には、関係する企業や認証機関にもこの回答書を送付し、WWF が 2015 年 8 月に送付した公開質問状で提起した疑問点に回答するよう要請するともあった。IFCC のウェブサイトには、AJA レジストララー・ヨーロッパ社の系列の AJA セルティフィカシ・インドネシア社が認証機関として掲載されているが、これまでのところ WWF は、この認証機関から監査概要やその他の情報を一切受領していない。

IFCC からの回答では、WWF が社会環境問題に関する規準を定める国際機関、ISEAL (International Social and Environmental Accreditation and Labeling : 国際社会環境認定表示連合) への加盟を信頼しうる認証の重要な要件の一つとしていることにも触れている。WWF の認証評価ツール、CAT (Certification Assessment Tool) は 16 の原則に基づいているが、この原則の一つが ISEAL の「社会環境基準設定のための適正実施規範」への適合である。またもう一つの原則では、測定可能なパフォーマンスに関する最低限の要件が ISEAL の効果規範 (インパクト・コード) に適合していることを求めている。どちらの原則も ISEAL への加盟を義務付けるものではないが、この認証評価ツールで用いている 80 の指標のうち 2 つが、ISEAL 加盟を重視している。



for a living planet[®]

WWFはインドネシアの製紙用植林地に関する IFCC/PEFC 認証について、今後もさらに情報を求める。そしてそれらの情報を入手および精査したうえで、本ウェブサイトに掲載していく予定である。

<原文>

WWF queries IFCC/PEFC certification of Indonesian pulp plantations

http://wwf.panda.org/wwf_news/?253664/WWF-queries-IFCCPEFC-certification-of-Indonesian-pulp-plantations

参考情報

WWF Certification Assessment Tool

http://wwf.panda.org/wwf_news/?246871/WWF-Forest-Certification-Assessment-Tool-CAT